

1	事業名称	南アルプスジオパークキャンプ			
2	新規・継続	継続	2年目		
3	趣旨	南アルプスジオパークを舞台に、雄大な自然の中で山歩きや地質的な観察、野外炊飯などの自然体験活動を通して自然の雄大さを実感し、自然のよさと共に怖さを学ぶことで自然と折り合いをつけ生きていくことの大切さに気づく。			
4	期日・期間	回数	開始日	～	終了日
		1回	8月6日(火)	～	8月10日(土)
5	実施場所	国立信州高遠青少年自然の家	流星オートキャンプ場(上村程野)	中央構造線博物館	
6	募集人数	20人			
7	共催・協力・後援	共催：伊那市 南アルプス(中央構造線エリア)ジオパーク協議会 協力：山地環境防災研究所 中央構造線博物館 後援：長野県教育委員会 伊那市教育委員会 山梨県教育委員会 愛知県教育委員会			
8	参加者人数	20人			
9	参加者類型	小学校6年生7人 5年生7人 4年生6人 (男子9名、女子11名)			
10	参加者地域	長野県16人、山梨県1人、岐阜県2人、東京都1人			
11	参加者分析	・タイニーキャンプ等、当所の他事業参加経験者が12名で、そのうち5名が昨年度に引き続き、本事業に参加した。 ・長野県内参加者は、上伊那3名、下伊那2名、諏訪4名、中信4名、東信3名と、県内各地から幅広い参加があった。			
12	アンケート満足度	満足	やや満足	やや不満	不満
		100%	0%	0%	0%
13	アンケートの主な記述	・石を集めるのがとても楽しかった。 ・サイクリングは楽しかったが、距離が長くて大変だった。 ・はじめは5日間は長いと思ったが、一日一日が新しいことの発見だったので、良かった。 ・すごくいい勉強ができた。やっているととても楽しかった。みんなと協力できて良かった。知らない友達と勉強するのも楽しいと思った。 ・山は怖いけど楽しいところだと思った。そしてまた行きたいと思った。			
14	成果	・アンケート結果を見てもわかるように、多くの参加者が中央構造線を中心として南アルプスの自然を捉えることができています。 ・5つの断層露頭を4日間かけて見学できるように日程を組み、合間に岩石標本の採取を組み入れていくことで、変化に富んだ学習日程とすることができた。 ・子どもたちにとって負荷の大きな活動を入れることで、班ごとの協力体制が強まり、学習の中でも協力して行う場面、話し合いで深める場面、個人で追究する場面のメリハリをつけることができた。 ・飯田美術館の坂本先生、中央構造線博物館の河本先生にお願いいただくことで、こども達の疑問や追究が深まり、標本やまとめにも学術的な裏づけができた。 ・大西公園で崩落現場を目の当たりに見学することで、自然の怖さを実感し、自然と折り合いをつけていこうとする子どもたちの意識を高めることができた。			
15	今後の課題	・地蔵峠のサイクリングは、体力的にかなりきつかった。想定以上に車で送る参加者が出てしまったので、コース設定について再度検討していく必要がある。 ・南アルプスジオパーク(中央構造線エリア)の地質的な見学地については今年度のキャンプでほぼすべての教材化ができたが、今後さらに一つ一つの見学地を結びつけて、地質的な意味づけをしていくこと、さらに、そこに暮らす人々の生活も結び付けて教材化していく必要がある。			
16	担当者メモ	・南アルプスジオパークのエリアが広大なため、活動場所への移動時間が長く、参加者の車酔いや疲労に対する対応を十分行わなければいけない。 ・天候によっては、土砂災害の心配のみならず、熱中症への配慮が必要。特に、今回は冷房の聞いた車内で軽い熱中症になった参加者が出てしまった。すぐに回復したが、冷却材はもっと必要であった。 ・これまで岩石を採集することはたくさんあったが、専門家にきちんと見てもらうことはしていなかった。きちんと名前をつけてもらうことで、標本に学術的な価値が生まれ、子どもたちの意識も高まる。			

プログラム展開		
日程・時間	プログラム	備考（講師等）
1日目		
13:00～14:00	開会式 オリエンテーション	
14:30～15:30	板山露頭、溝口路頭見学	国立信州高遠青少年自然の家 企画指導専門職
19:00～21:00	ガイダンス「南アルプスジオパークの概略」	飯田市美術博物館 専門研究員 坂本正夫
2日目		
8:00～16:00	千代田湖～金鶏金山調査ハイキング ・蛇紋岩露頭の観察、標本採取 ・蝨石鉱山の観察、標本採取 ・金山跡(亀坑跡)の観察、標本(水晶)採取	国立信州高遠青少年自然の家 企画指導専門職
18:30～21:00	一日のまとめ ・調査のまとめ、疑問の洗い出し ・個人テーマ、班目標の設定	飯田市美術博物館 専門研究員 坂本正夫 国立信州高遠青少年自然の家 企画指導専門職
3日目		
6:00～17:00	地蔵峠調査サイクリング ・程野露頭調査 ・安康露頭調査、標本採取	飯田市美術博物館 専門研究員 坂本正夫
17:00～19:00	野外炊飯	国立信州高遠青少年自然の家 企画指導専門職
19:00～	流星オートキャンプ場 テント泊	国立信州高遠青少年自然の家 企画指導専門職
4日目		
10:00～12:00	中央構造線博物館見学	中央構造線博物館 学芸員 河本和朗
13:00～14:00	大西公園調査	中央構造線博物館 学芸員 河本和朗
19:00～20:30	話し合い、まとめの構想	飯田市美術博物館 専門研究員 坂本正夫 国立信州高遠青少年自然の家 企画指導専門職
5日目		
9:00～12:00	キャンプのまとめ	国立信州高遠青少年自然の家 企画指導専門職
13:00～14:00	まとめの発表会および講評	飯田市美術博物館 専門研究員 坂本正夫 国立信州高遠青少年自然の家 企画指導専門職
14:00～14:20	閉会式	

17



板山露頭の調査(標本採集)



中央構造線と南アルプス(赤石山脈)の学



蛇紋岩露頭の解説と調



地蔵峠調査サイクリング



4日日夜、まとめの場面、参加者の標本箱



最終日 発表の場面